

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【音楽科】

1. 対象 特別支援学校 小学部（5人）

1年生の2人は入学してから日が浅く、学校生活に慣れ始めた段階である。初めての活動には少し戸惑いを見せることがあるが、繰り返したり、5・6年生のまねをしたりすることで見通しがもてると、自分から活動に取り組めることが増えている。5・6年生は、3人とも「1年生のために」という気持ちが強く、優しく接しようとする姿が授業や休み時間の中で見られる。異学年でグループを作る良さが、様々な場面で見られるようになってきている。

2. 単元名 「好きなリズムを奏でよう～題材『茶色のこびん』～」（全8時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・楽器の音色やリズムの面白さに気付き、曲に合う楽器を選んだり、好きなリズムをつなげたりすることができる。
思考力，判断力，表現力等	・曲やリズム、楽器の音などから表したいことを思い付き、友達と対話しながら自分たちの音楽を作ることができる。
学びに向かう力，人間性等	・曲想やリズムとの関係、友達が考えたリズムに興味や関心をもちながら、音楽づくりの活動に取り組むことができる。

4. 授業展開【本時・単元】

解決したい課題や問い

題材：茶色のこびん（器楽）

みんなで茶色のこびんを「ゴールデン」にしよう！

考えるための材料

iPad（録音または録画）	楽譜、色楽譜、リズム譜	太鼓、カスタネット、卓上ベルなどの打楽器 楽器の種類、組み合わせ
想定される活動		
・自分達が演奏した、いろいろなリズムの楽器の音を聴き比べて、どれが良いか選ぶ。	・いくつかのリズムから、自分の鳴らしたいリズムを選ぶ。 ・自分で鳴らしたリズムをリズム譜に起こし、演奏する材料にする。	・同じリズムを違う楽器で鳴らしてみ、自分の好きな音を見つける。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

①友達が選んだ（考えた）、リズムや楽器の演奏を聴く。

対話を行うための前段階。まずは友達の考え（ここでは作ったり選んだりしたリズムや楽器）を知り、それに対して自分なりに好きなどころや、良かったところなどをまとめられるようにする。（必要に応じてワークシートを使用する。）

・「〇〇さんのリズムがすてきだった。」

②友達の演奏の良かった所を話し合う。

①で考えたことを発表し、友達の良さを認め合う。何が良かったのかを具体的に話せる児童には話してもらい、個々の自信につなげられるようにする。→教師がつなげる。

・「〇〇さんのリズムは、間に四分休符を使っていてカッコよかった。」

③良かった所を集めて、「ゴールデン」な茶色のこびんを考える。

※「ゴールデン」はクラス目標から引用

①、②で認め合った友達や自分の考えをまとめあげて、茶色のこびんのリズムを考える。子どもたちのリズムは、必要に応じて教師がリズム譜にまとめておき、覚えられるようにしておく。また、演奏している様子を動画で残しておき、聴き比べる材料とする。

・「ここは〇〇さんのリズム、こっちは□□さんのリズムが良いかも。」

・「いろいろな楽器の音が聞こえてくると、「ゴールデン」な茶色のこびんになるかも。」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・〇〇さんが使った楽器で鳴らすと、良い茶色のこびんになるかも。
- ・最後にシンバルの音が聴こえると、「ゴールデン」になるかも。
- ・やっぱり□□さんのリズムがあったほうが良いかもね。
- ・誰かに聞かせたい！